

みんなで森を育てよう！

■シイタケ植菌体験学習

■森林生産体験学習

まちの子どもたちに森の大切さを理解し、森の恵みに感謝する心を育てようと、11月22日、小学校4・5・6年生を対象に体験学習が行われました。



初めてのドリルに緊張！（シイタケ植菌体験学習）

6年生になったら
おいしく食べよう

まちの代表的な林産物、シイタケの植菌を通して森林と人との関わりについて知識を深め、森林を大切にすることを育てようと、11月22日、町内の小学4年生を対象に植菌体験学習が黒坂小学校で行われました。

4年生31人は、講師の椎草生産組合長の久代宏一さんや日野森林組合員の指導を受けながら、シイタケのほだ木にドリルで穴をあけ、シイタケの菌を金づちで一つずつ埋め込んでいきました。

今回埋め込んだ菌はジャンボシイタケ。収穫できるのに約2年かかるので、食べることはできるのは6年生の秋になります。

子どもたちは「茶碗蒸しに入っているシイタケが好きなので、収穫できる2年後が楽しみ」など感想を話しながら作業をしていました。

のこぎりギコギコ

スギの枝打ち体験

5年生はスギの枝打ち体験学習をしました。

枝打ちは、枯れ枝などを取り除くことで節のない良質の木材を生産することを目的に定期的に行われます。

5年生40人は、中菅のスギ・ヒノキ林へ入り、日野総合事務所林業振興課指導員から、枝打ちの基本や方法を教えてもらい、枯れ枝や、幹に巻きついたたけのこぎりで切り落としました。

「初めはむずかしかったけど、やっているうちに慣れました。機会があったらまたやってみたい」と初めての経験を話してくれました。

大きな森になるように

クヌギとキハダを植栽

6年生は植栽体験学習をしました。

中菅の滝山公園地内に集まった6年生25人は、日野森林組合員の指導で苗木300本（クヌギ150本、キハダ150本）を次々と植えていきました。

前日まで雨が降っていたため、地面がぬかるんで作業しにくかったようですが、皆で協力し合い、1時間ほどですべての苗木を植えることができました。



この苗が立派になるのに何年かかるのかなあ（植栽体験学習）

この学習を通して子どもたち自身が山や、木や、土と触れ合うことで、そのかけがえのなさを学ぶことができました。この子どもたちが大人になったときにも、日野の山々が美しいままであるよう、私たちの手で環境を大切にしたいですね。



新しいまちの「顔」になります。よろしく！

デザイン
決定！

平成18年1月4日から運行する町営バスのデザインが決まりました。

バスのデザインは、町内の小学3年生から6年生の子どもたちに公募しました。応募された中から審査し、優秀賞1点と佳作3点を選び、それらを参考にデザインしました。デザインは、白のボディに日野川とカワコを基本にして、オシドリやツツジ、アユや紅葉など、まちに関係の深いものをカラフルに描きました。

■ 審査結果

優秀賞 窪田野々花さん

佳作 音田由紀子さん
(根雨小学校6年)

(根雨小学校6年)
小谷 紗世さん

(黒坂小学校6年)
長内 綾乃さん

(黒坂小学校4年)

応募してくださった皆さん、ありがとうございました。

第36回町表彰

■ 町政に大きく貢献した 皆さんに表彰状

本年度、まちの発展に貢献のあった方を表彰する第36回町表彰式が11月18日、役場庁舎で開かれました。

今回受賞されたのは次の方々です。

● 佐伯伴三さん（黒坂）

町選挙管理委員会委員及び委員長として、長年にわたり公正な選挙の管理執行に努められました。

● 黒坂地区自主防災委員会 (会長 福田和也さん)

自主防災活動に積極的に取り組み、その活動は他の模範となり、まちの地域防災力の向上に努められました。



表彰状を受け取る、黒坂地区自主防災委員会の
梅林照男さん（写真左）

表彰式では、梅林町長のあいさつの後、受賞者に表彰状と記念品が手渡されました。

町表彰は、まちの政治、経済、文化など町政の振興に寄与または住民の模範となる個人、団体を表彰し、まちの自治振興を図るため毎年行われています。